

**2015 年度
(公社) 日本水環境学会東北支部総会・講演会の開催**

公益社団法人 日本水環境学会東北支部では、2015 年度東北支部総会および講演会を下記のとおり開催いたします。

生物の多様性は、開発等による生物種の絶滅や生態系の破壊、社会経済情勢の変化に伴う人間活動の縮小による里山の劣化、外来種等による生態系のかく乱により、深刻な危機に直面しています。人類は生物の多様性のもたらす恵沢を享受しており、生物の多様性は人類の存続の基盤となっています。人類共通の財産である生物の多様性を確保し、それがもたらす恵沢を将来にわたり享受できるよう、次世代に引き継いでいくためには、生物多様性への影響を回避しつつ、その恵沢を将来にわたり享受できる持続可能な社会に向けた行動が必要とされています。講演会では、特に水界生態系の生物多様性の保全や再生に焦点をあて、国・地方自治体・大学・NPO 等の取り組みについて講演をいただきます。多数の皆様のご参加をお待ちしております。

主 催：(公社) 日本水環境学会東北支部
日 時：2015 年 5 月 28 日 (木) 13:00～ 17:30
場 所：仙台市戦災復興記念館 展示ホール
〒980-0804
仙台市青葉区大町 2-12-1
Tel 022-253-6931 Fax 022-262-5465

プログラム

- 13:00～14:00 **東北支部総会**
14:30～17:30 **講 演 会**
14:30～14:40 挨 拶
(公社) 日本水環境学東北支部長 岡田誠之
14:40～15:00 **講 演 1**
日本水環境学会東北支部平成 26 年度東北水環境保全賞受賞記念講演
細越ホテルの里の会 会長 澤谷 一男氏
15:00～17:30 **講 演 2**
～水界生態系の生物多様性の保全・再生への取り組みと課題～
・基調講演 15:00～16:00
淡水生態系の生物多様性評価とその意義
独立行政法人国立環境研究所 高村 典子氏
～ 休 憩 ～
・東北地方における水界生態系の生物多様性の保全・再生の事例報告 16:10～17:30
①津波により破壊された井戸浦の自然再生
東北大学大学院理学研究科 占部 城太郎氏
②宮城県伊豆沼・内沼における自然再生に向けたさまざまな取り組み
宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリーセンター 藤本 泰文氏
③北上川河口ヨシ原の現状と再生への試み
東北工業大学環境エネルギー学科 山田一裕・渡辺悟史氏
17:30～17:35 挨 拶

参 加 総 会：水環境学会会員に限ります。
講演会：水環境学会会員以外の方の参加も自由です。

定 員 150 名
参加費 無料
交流会 18:00～20:00
会 場 未定
会 費 4,000 円程度

問い合わせ・連絡先

(公社) 日本水環境学会東北支部 中野和典
〒963-8642 福島県郡山市田村町徳定字中河原 1
日本大学工学部
Tel:024-956-8719, Fax:024-956-8858
E-mail:knakano@civil.ce.nihon-u.ac.jp